

日本での交換留学

国立政治大学

リージョウオン

学籍番号 k2590010

時間は矢の如く、お茶大での留学生活もすでに半年が経ちました。日本に来る前は不安でいっぱいでした。一人で海外に暮らすのは初めてだったので、不安とワクワクを抱えて、日本にやってきました。

日本に着いたばかりの頃は、区役所での手続きや履修登録などで毎日忙しくしていました。しかし、国際課の先生方やチューターさんの支えもあり、今では日本での生活を順調に送れています。

今回の交換留学を通して、日本語と日本文化をもっと身に付けたいと思い、今学期は主に留学生向けの授業を取りながら、正規科目も2つ履修しました。中でも特に印象に残っているのが、黄美蘭先生の「日本語演習 VA」です。黄先生の授業では、言語や多文化について詳しく学ぶことができました。また、日本人学生と留学生が一緒に受ける授業だったため、グループディスカッションではさまざまな背景を持った人たちからの意見を聞くことができ、日本だけでなく、他の国の文化についても学ぶことができました。

日本での大学生活をより充実させるために、勉強だけでなく、バレー部と軽音サークル「オレマニ」にも参加しました。オレマニの新歓ライブでは、日本で一番仲の良い友達と出会いました。彼女は神奈川県藤沢市出身で、「一人旅が苦手だ」と私が話したところ、鎌倉と江ノ島を案内してくれました。それがきっかけで、私たちは親友のような存在になりました。この夏休みには、彼女に誘われて彼女の実家に一晩泊まる予定です。とても楽しみにしています。

最後に、私の交換留学を支えてくれた家族、友人、そしてお茶の水女子大学の職員の方々、先生方、同級生の皆さんに心から感謝を申し上げます。この半年で、留

学しなければ一生出会えなかったかもしれない仲間たちと出会い、沢山の思い出を作ることができました。8月末に帰国する友達も多く、「また会えるのかな」と思いながら、今この瞬間を大切に過ごしています。私はこの留学で、一生忘れられない宝物のような思い出を作ることができました。これからの半年も、今学期に負けないくらい充実した留学生活を送れるよう、引き続き頑張りたいと思います。

